

## 保険機能と資産運用

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者  
加入協会

関東財務局長（金商）第430号  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2026.3.10

人+産業金融=成長  
成長を支える投資の原点へ



# 概要

## **保険商品設計の高度化**

現代の社会構造の変化に伴い、保険の必要性も変化してきた。顧客本位の視点から保険会社、または最適な業者によって真に必要とされる保険の社会的機能を提供していく必要がある。

## **バンドリング、リバンドリング、アンバンドリング**

保険契約者の多様化するニーズに応じるためには、保険商品が複数の金融機能を結合させる「バンドリング」を行うだけでなく、従来バンドリングされてきた機能を一旦解体する「アンバンドリング」を行い、そのうえで加入者の利益に基づいて金融機能を再構築する「リバンドリング」を行うことが求められる。従来型のバンドリングは、契約者にとって不要な機能まで含まれた状態で保険料を支払わせる構造になりがちであり、また商品の複雑化に伴ってさまざまな弊害が生じる。保険商品に限らず、保険会社を含む金融機関全体についても、顧客視点から解体と再編を検討する必要があるといえる。

## **様々な投資対象への投資**

保険運用においては契約者への安定的な利差益還元が求められる。元本の保全を図りつつ、保険負債の長期性と大きな集積としての固定性を活かし、運用の高度化を図る必要がある。

## **保険負債の資本性と運用の高度化**

保険負債では、個々の負債は日々変動していても、巨大な集積としての負債合計において大きな変動がなければ、資本性があるといえるのではないかと。資本性があるならば、流動性リスクをとる余地があり、運用の高度化へとつながる。

## **資産価格の変動ではなく資産価値の維持と増殖**

資産は、それ自体に本源的な収益を内包したものである。本源的収益が資産の価値だが、その資産の価格は市場原理によって形成されるので、必ずしも価値と一致しない。価格変動は管理できないため、長期的な視点のもと、資産価値の維持と増殖を目的とする必要がある。

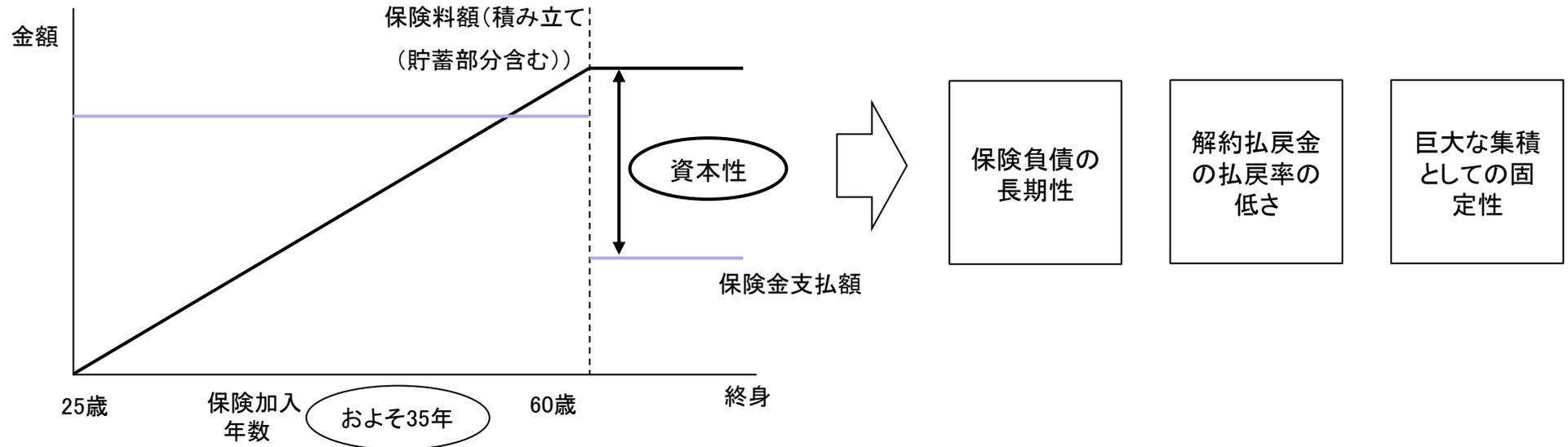
## **ESR規制の導入**

2026年3月より保険会社の資本規制としてESR(Economic Solvency Ratio)規制が導入される。ESR規制では資産・負債の評価を経済価値ベース(時価)へ全面的に統一、金利・株式・スプレッド等の市場リスクを99.5%信頼水準のストレステストに基づき計測し、所要資本を算定する方式へ転換される。従来のSMR(Solvency Margin Ratio)は負債をロックイン方式で評価、資産側も簡素なリスクファクター方式で所要資本を算出していたため、市場リスクが十分に反映されないという指摘があった。この結果、多くの保険会社において、資本要求はSMR時より大きくなることが想定される。

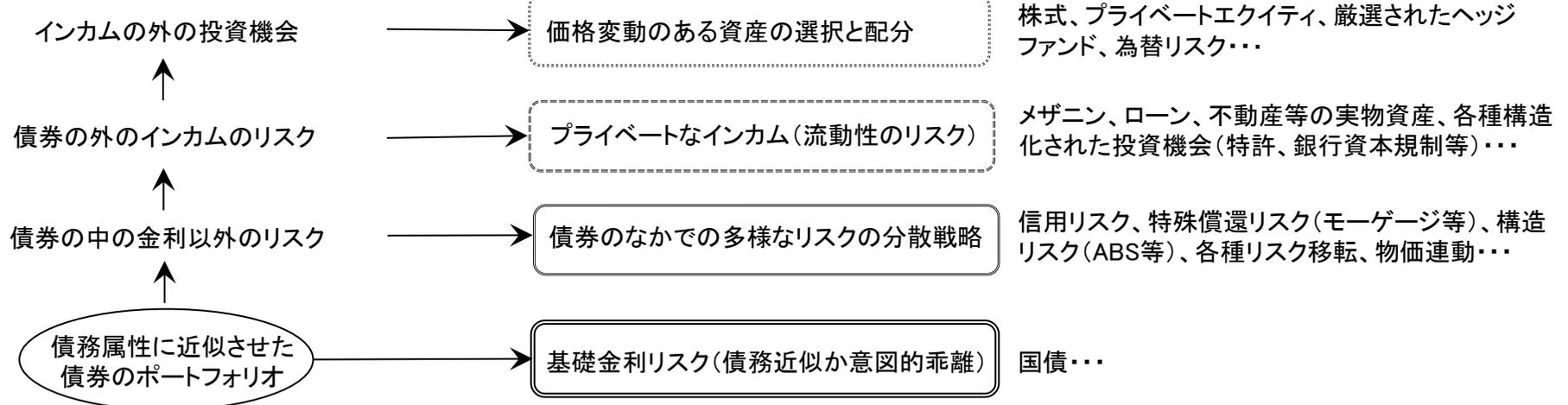
用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

# 保険負債の資本性と運用の高度化

## ● 保険負債の資本制

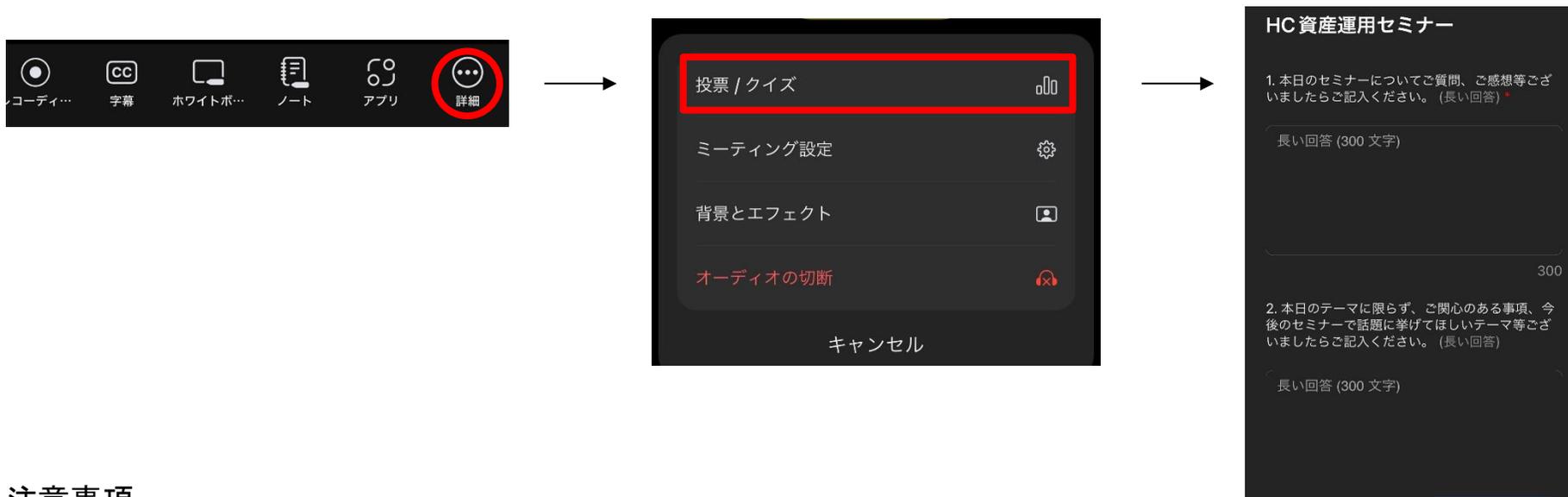


## ● 保険会社の資産運用高度化



# 講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。  
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



## 注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。